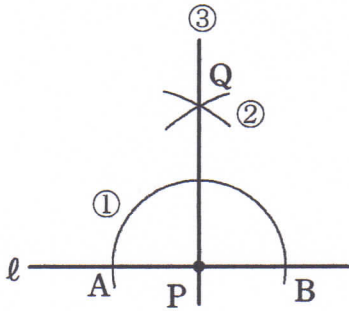


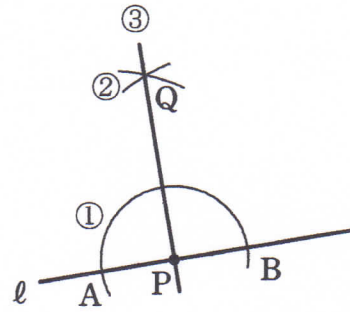
作図② 解答と解説

- 1 ① 点 P を中心とする適当な半径の円をかき、直線 l との交点を A , B とする。
 ② 2点 A , B をそれぞれ中心として、同じ半径の円をかき、その円の交点の1つを Q とする。
 ③ 直線 PQ をひく。
 このとき、直線 PQ は、点 P を通る直線 l の垂線である。

(1)

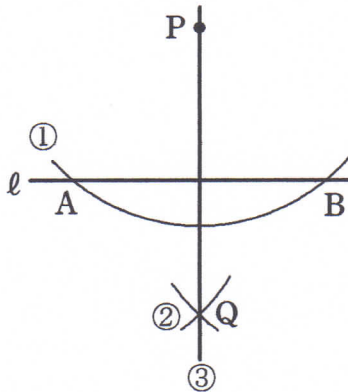


(2)

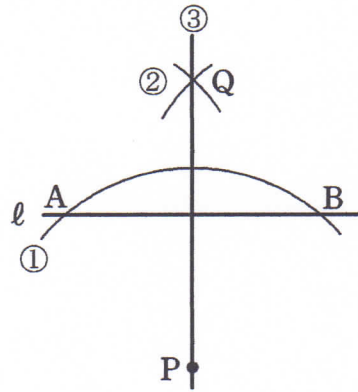


- 2 ① 点 P を中心とする適当な半径の円をかき、直線 l との交点を A , B とする。
 ② 2点 A , B をそれぞれ中心として、同じ半径の円をかき、その円の交点の1つを Q とする。
 ③ 直線 PQ をひく。
 このとき、直線 PQ は、点 P を通る直線 l の垂線である。

(1)



(2)



- 3 ① 線分 AC の垂直二等分線を作図する。
 ② ① で作図した直線と線分 AC の交点は、辺 AC の中点となる。この点を P として、 B と P を結ぶ。
 このとき、 $AP=CP$ であるから、 $\triangle BAP$ と $\triangle BCP$ の面積は等しい。
 よって、線分 BP は $\triangle ABC$ の面積を2等分する。

